

2014年1月31日

各位

公益社団法人 オリックス財団
オリックス不動産株式会社

沖縄サンゴ礁再生プロジェクト 沖縄の子どもたちがサンゴ礁の苗を作る 「体験・学習プログラム」を開催

オリックス不動産株式会社（住所：東京都港区、社長：山谷 佳之、以下「オリックス不動産」）が2008年7月から取り組んでいる「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト」の活動の一環として、公益財団法人 オリックス財団（所在地：東京都港区、代表理事：宮内 義彦、以下「オリックス財団」）が実施している「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト／児童体験・自然環境保全活動」の開催日が決定しましたのでお知らせします。

「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト／児童体験・自然環境保全活動」は、今回で7回目となり、沖縄県下の児童擁護施設また母子生活支援施設の児童約100名(各回約50名)を招待し、「サンゴ礁って何だろう？サンゴ礁の再生活動に参加してみよう」をテーマに「児童体験・学習プログラム」を実施します。

■開催スケジュール

日時：2014年2月1日（土）

①午前の部 10：00～12：40

②午後の部 14：00～16：10

場所：沖縄県浦添市牧港 5-22-6

沖電開発株式会社 水産養殖研究センター（TEL：098-871-1820）

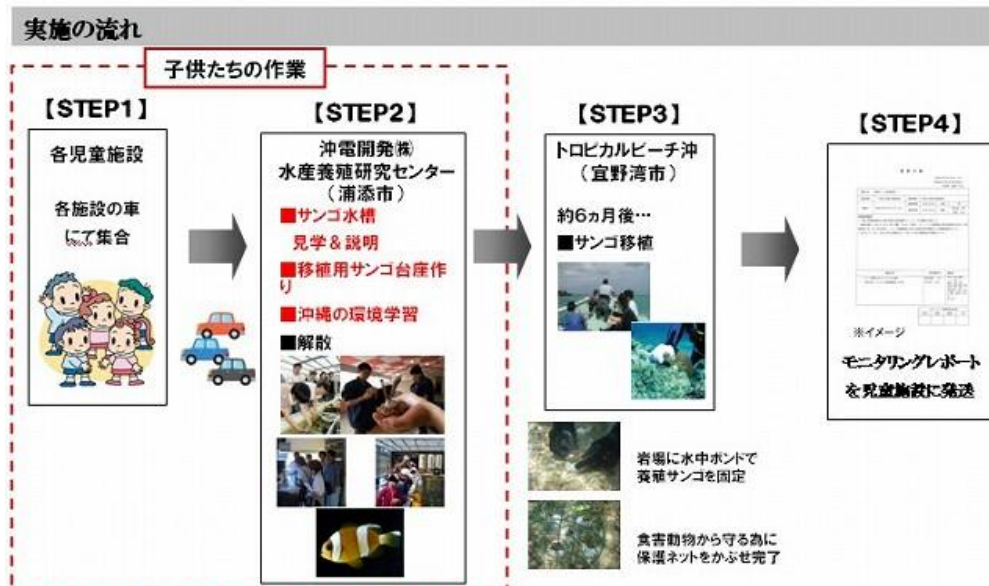
参加人数：①②合計で約100名

テーマ：「サンゴ礁って何だろう？サンゴ礁の再生活動に参加してみよう」

概要：①サンゴ養殖水槽の見学

②移植用サンゴ苗の台座作り体験

③沖縄の環境学習



Press Release

■「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト」について

2008年7月からサンゴ礁やサンゴと共生する生物など海洋環境の保護を通じて、地球環境の保全に貢献する目的でスタートしました。既に約6,800本を沖縄県に移植しており、10,000本の移植を予定しています。



■過去の「児童体験・学習プログラム」の実績

2009年3月から沖縄県下の子どもたちを毎回20名～40名招待して開催しました。沖縄の海洋生物を見学したり、触ったり、サンゴ苗の台座をつくる体験から沖縄のサンゴ礁の美しさや、自然の大切さを学習するきっかけとなることを願うプログラムを実施しました。サンゴ苗は水槽で3ヶ月養殖し、沖縄県今帰仁村沖宜野湾沖の海に移植しました。



(写真は一昨年の様子)



■オリックス財団について

オリックスグループは、企業活動による貢献だけではカバーしきれない社会福祉、子ども・青少年、環境保全、音楽、文化芸術、スポーツ振興、国際協力などへの支援活動を行うことを目的に、2006年4月に「オリックス社会貢献基金」を設立し活動をしてきました。その後、2010年4月に、同基金の支援活動を引き継ぐ形で「一般財団法人 オリックス財団」を設立、2010年12月に公益財団法人として認定を受け、「公益財団法人 オリックス財団」として公益の一層の増進と、真に「豊かな社会」の実現に寄与することを目的に、社会貢献活動を継続的に行っています。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス不動産株式会社 社長室 永井・岡弘・石井 TEL : 03-5418-4313